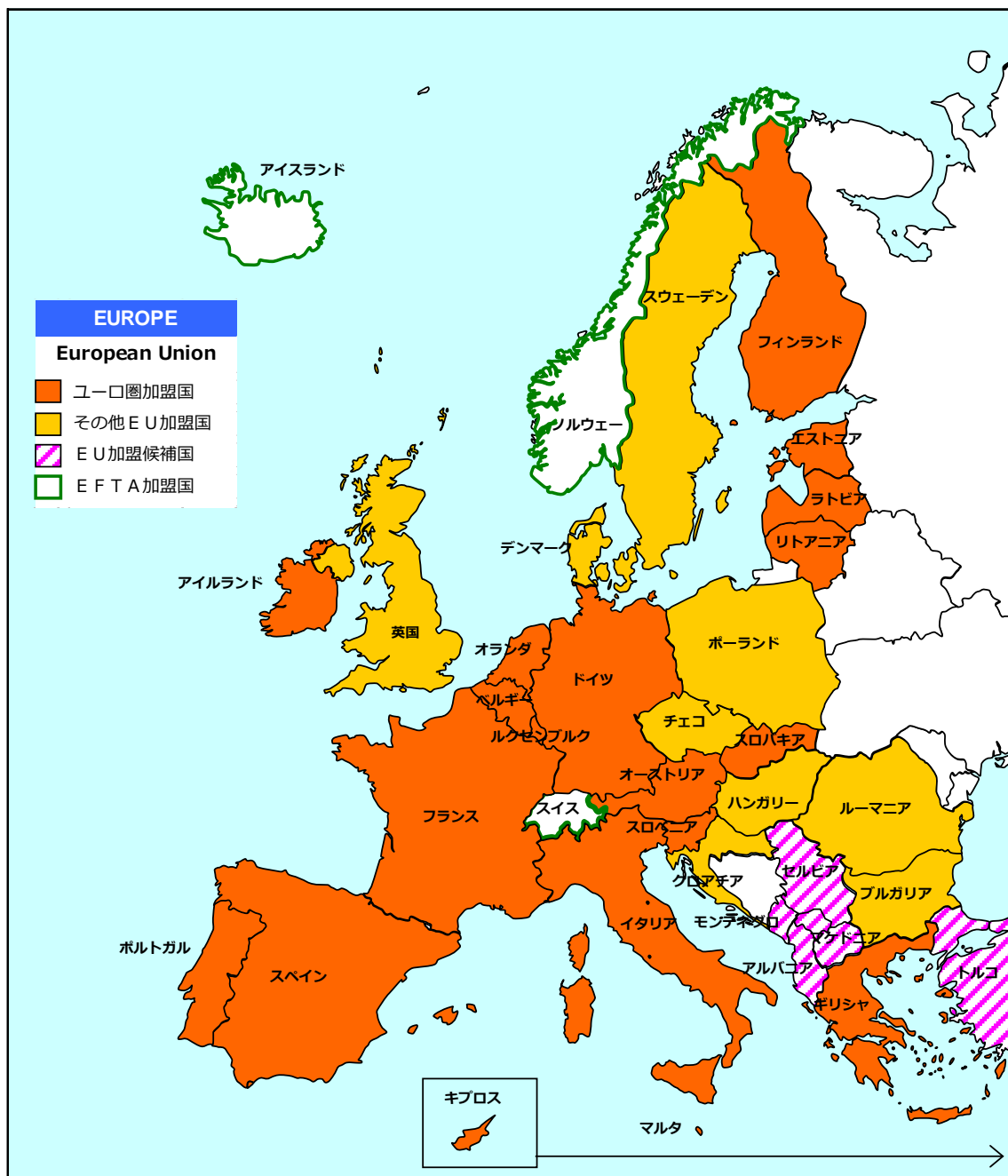


2018年10月26日 全13頁

欧州経済アップデート (2018.10)

経済調査部
研究員 矢澤 朋子

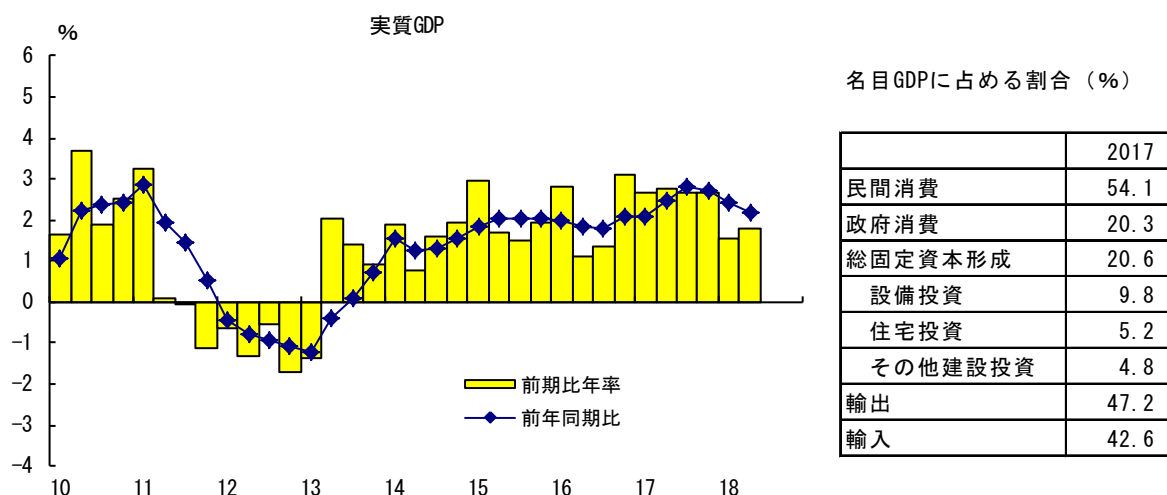


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 18年Q2の実質GDP成長率は、前期比+0.38%から同+0.45%に上方修正された（前期比年率では+1.5%から同+1.8%に修正）
- 需要項目別では、総固定資本形成が前期比+1.2%から同+1.4%に上方修正された。輸出も上方修正され、純輸出の寄与度は-0.20%ptから-0.01%ptにマイナス幅が縮小した
- Q3の実質GDP成長率は、10月30日に速報値、11月14日に改定値が発表される予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4
個人消費	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.2	0.5	0.2
政府消費	0.5	0.5	0.8	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.5	0.2	0.1	0.4
総固定資本形成	-4.3	2.7	0.6	1.3	0.8	1.4	-0.7	2.1	-0.3	1.5	0.1	1.4
設備投資	-8.5	4.3	0.5	2.1	0.3	1.9	-2.4	3.2	-1.6	2.2	-0.4	1.7
住宅投資	1.1	0.9	1.6	1.3	1.6	1.2	0.9	1.4	1.1	1.1	0.9	0.8
その他建設投資	0.1	1.2	-0.2	-0.7	1.2	0.7	1.5	0.2	1.3	0.6	0.3	1.5
輸出	0.2	0.9	0.6	1.2	0.3	1.5	1.8	1.0	1.3	2.1	-0.7	1.0
輸入	-1.4	2.3	0.6	1.1	0.7	1.9	0.5	1.1	0.6	1.5	-0.5	1.2

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

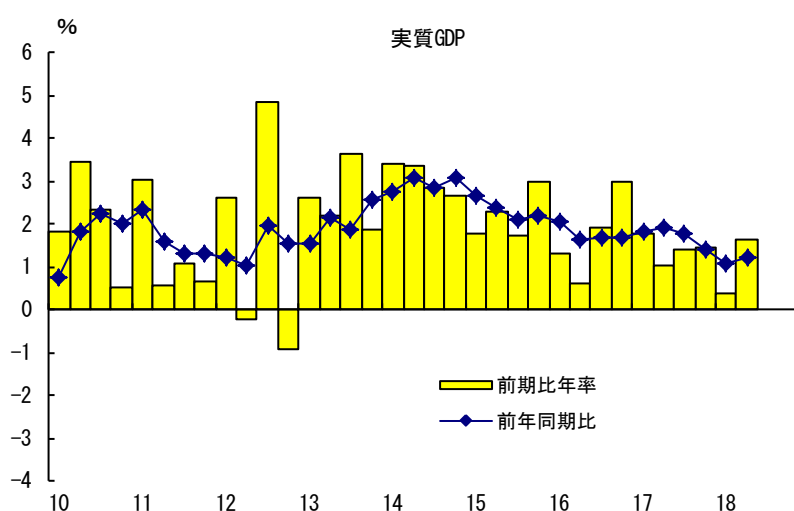
	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4
個人消費	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
政府消費	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
総固定資本形成	-0.9	0.5	0.1	0.3	0.2	0.3	-0.2	0.4	-0.1	0.3	0.0	0.3
設備投資	-1.0	0.4	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.3	0.3	-0.2	0.2	-0.0	0.2
住宅投資	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
その他建設投資	0.0	0.1	-0.0	-0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
在庫変動	0.2	0.2	0.0	-0.3	0.1	0.2	-0.1	-0.1	0.0	-0.2	0.2	-0.0
輸出	0.1	0.4	0.3	0.5	0.2	0.7	0.8	0.5	0.6	1.0	-0.4	0.5
輸入	0.6	-1.0	-0.3	-0.5	-0.3	-0.8	-0.2	-0.5	-0.2	-0.7	0.2	-0.5
純輸出	0.7	-0.6	-0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.6	-0.0	0.4	0.4	-0.2	-0.0

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 実質 GDP 成長率（確報値）が発表され、18 年 Q1 は前期比+0.2%から同+0.1%に下方修正された。輸出が同マイナスとなり、純輸出がマイナス寄与に転じた
- Q2 は前期比+0.36%から同+0.40%に上方修正された。ただし、総固定資本形成は同+0.8%から同-0.5%に大きく下方修正され、2 四半期連続の同マイナスとなった
- 月次 GDP によると、6-8 月の GDP 成長率は 3-5 月比+0.7%と好調な伸びが続く。例年よりも高い気温に支えられ、小売り、食品・飲料、住宅建設のプラス寄与が大きかった



名目 GDP に占める割合 (%)

	2017
民間消費	65.7
政府消費	18.2
総固定資本形成	17.2
政府部門	2.6
企業部門	9.6
民間住宅投資	3.5
輸出	30.2
輸入	31.3

英国の需要項目別 GDP 成長率（前期比：%）

	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質 GDP	0.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.1	0.4
個人消費	1.2	0.1	1.1	0.8	1.1	0.0	0.6	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3
政府消費	0.6	-0.2	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.4	0.4	-0.2	0.3	0.2	-0.4
総固定資本形成	-2.1	1.8	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.0	1.8	0.2	0.7	-1.0	-0.5
政府部門	-5.5	-1.4	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-0.5	4.9	-1.8	-0.5	-3.9	1.3
企業部門	-2.5	2.3	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.8	0.6	0.5	-0.5	-0.7
民間住宅投資	-1.2	3.0	3.2	1.1	1.9	1.6	4.7	-0.4	1.2	4.8	1.5	2.4
輸出	-1.0	2.0	-0.9	0.9	-3.2	6.6	-0.4	1.1	2.8	1.0	-0.8	-2.2
輸入	0.3	2.7	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.3	0.7	1.1	-0.1	-0.3	-0.2

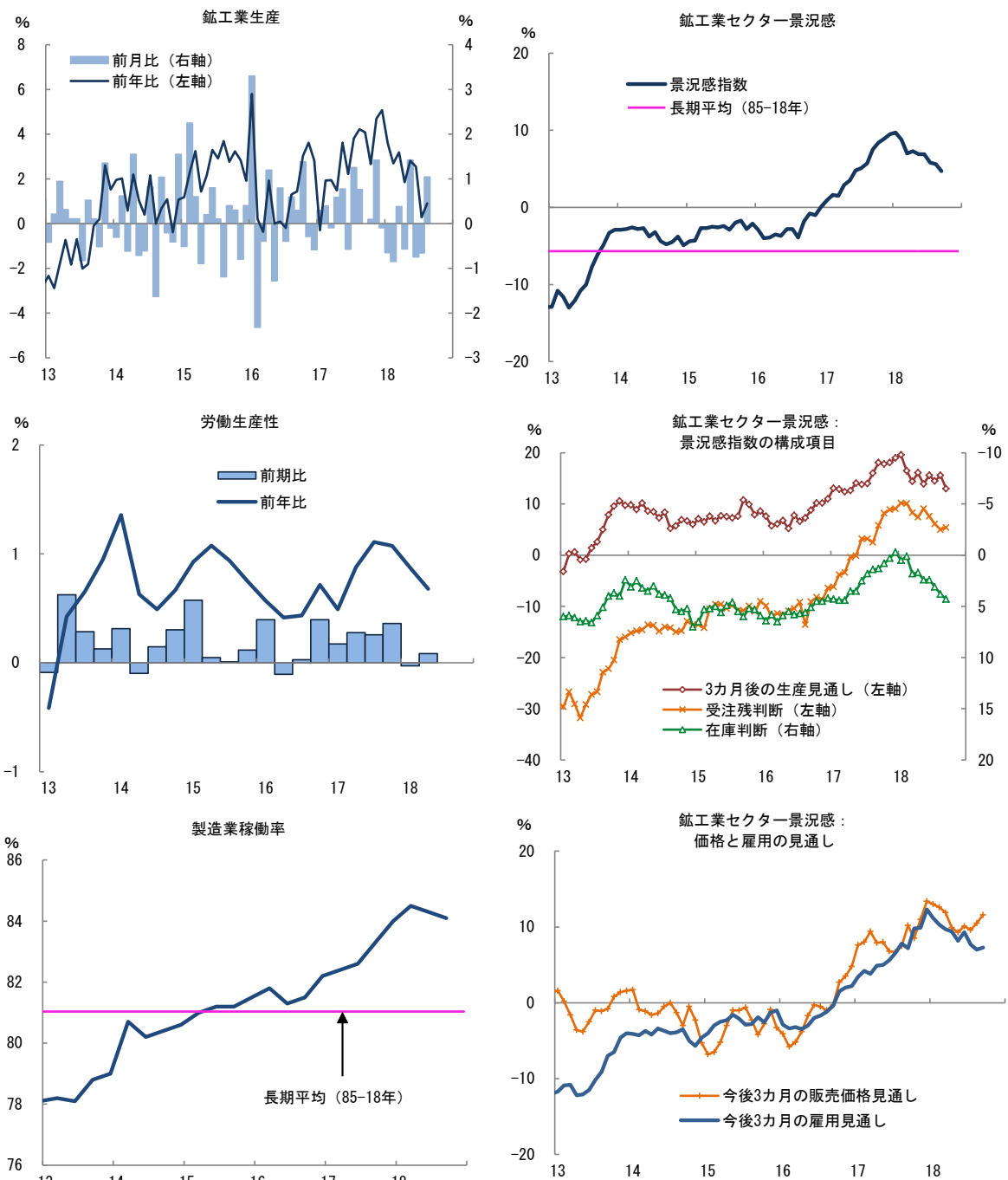
英国の需要項目別 GDP 寄与度（前期比：%）

	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質 GDP	0.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.1	0.4
個人消費	0.8	0.0	0.7	0.5	0.7	0.0	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2
政府消費	0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	-0.0	0.1	0.0	-0.1
総固定資本形成	-0.4	0.3	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	-0.2	-0.1
政府部門	-0.2	-0.0	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.1	-0.0	-0.0	-0.1	0.0
企業部門	-0.2	0.2	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.2	0.1	0.0	-0.1	-0.1
民間住宅投資	-0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.0	0.0	0.2	0.1	0.1
在庫変動	0.1	-0.5	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.2	-0.3	-0.2	-0.3	0.0	0.9
輸出	-0.3	0.6	-0.3	0.3	-0.9	1.8	-0.1	0.3	0.8	0.3	-0.2	-0.7
輸入	-0.1	-0.8	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.1	-0.2	-0.3	0.0	0.1	0.0
純輸出	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.2	0.1	0.5	0.3	-0.1	-0.6

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 8月の鉱工業生産は前月比+1.0%と3カ月ぶりのプラス転換。最大のウェイトを占める製造業の生産が同+0.9%と3カ月ぶりのプラスに転じたため
- 製造業の内訳を見ると、比較的ウェイトの高い、基礎金属、化学製品等、機械・装置等、食品・飲料・たばこの生産がそろって前月比プラスとなった
- 9月の鉱工業セクター景況感指数は悪化が続く。構成項目のうち、生産見通し、在庫判断が前月比で悪化

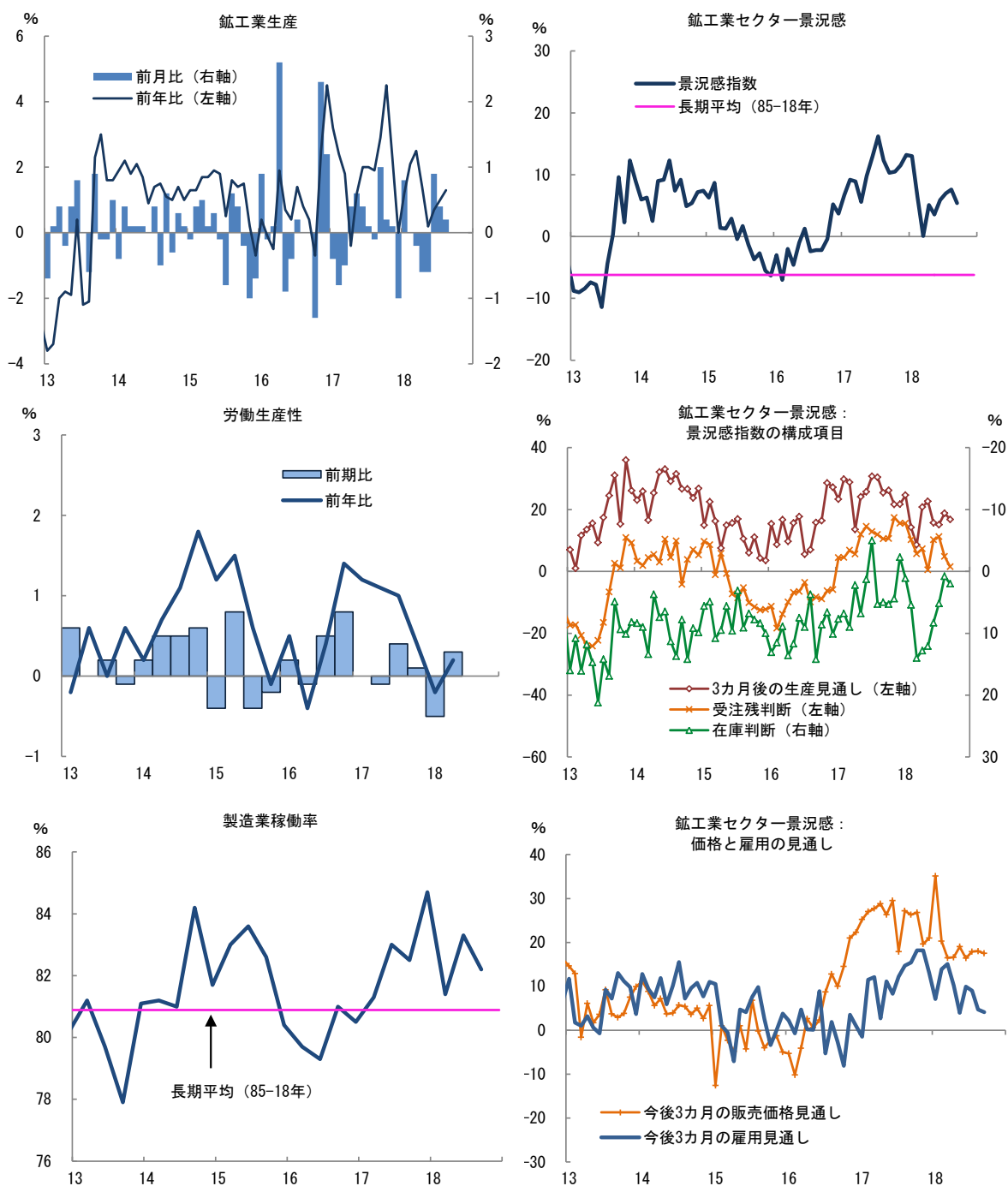


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 8月の鉱工業生産は前年比+1.3%と3カ月連続の加速となった。鉱業・採石及び水道等の生産が共に加速し、電気・ガス等の生産は減少幅が縮小した
- ただし、ウエイトの高い製造業生産は、基礎金属等、医薬品等、化学製品等の生産が不振であったため、前年比+1.3%とわずかに減速した
- 9月の鉱工業セクター景況感は4カ月ぶりに前月比で悪化に転じた。すべての構成項目が悪化した

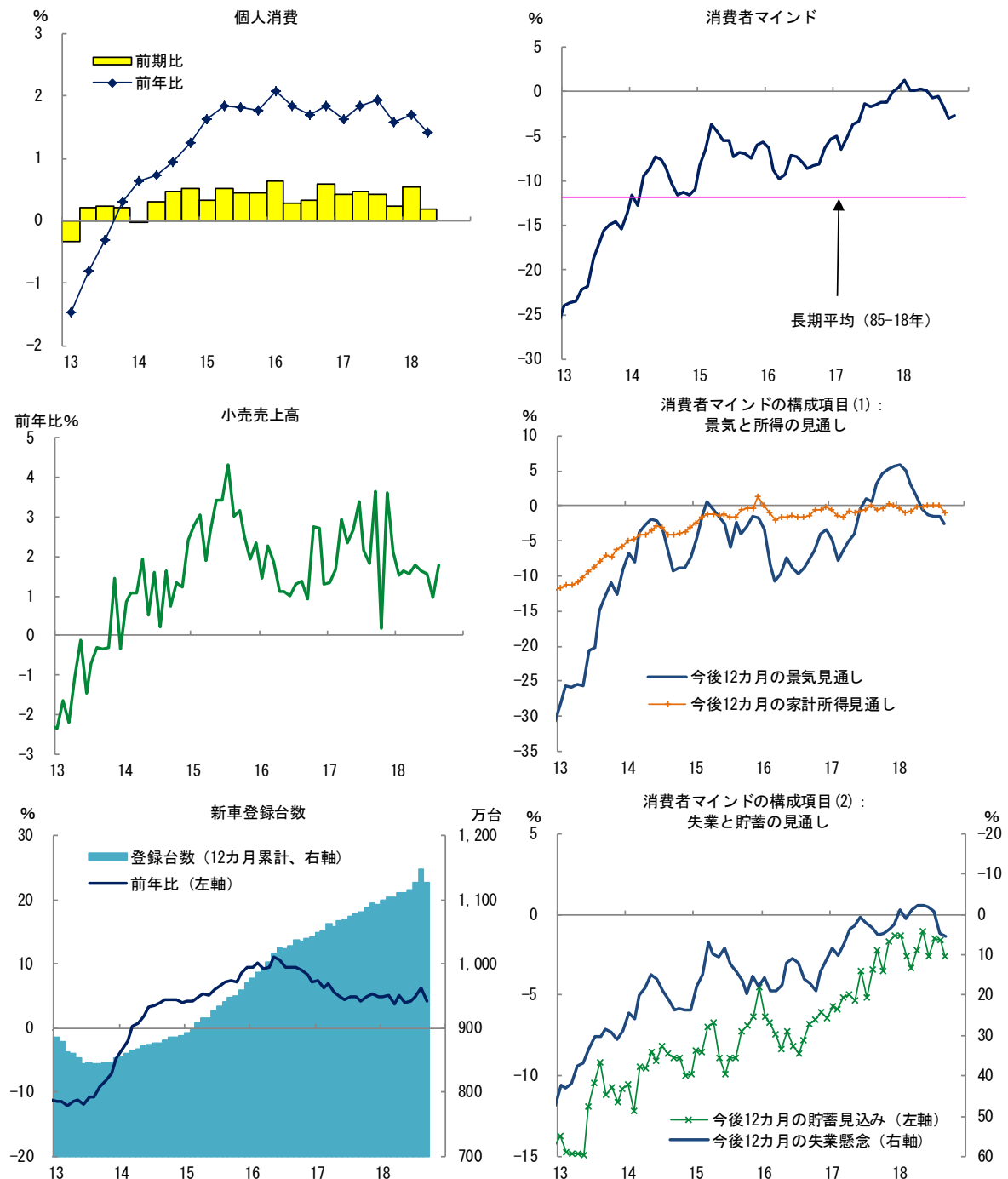


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 8月の小売売上高は前年比+1.8%に加速。非食品売上が4カ月ぶりに加速した
- 新車登録台数は9月単月では前年比-24.0%と大きく反落。8月は9月からの新車登録方式変更を前に同+30.9%と急増していた。ただし、12カ月累計では同+4.3%と堅調な伸び
- 10月の消費者マインド（速報）は9月からやや持ち直した

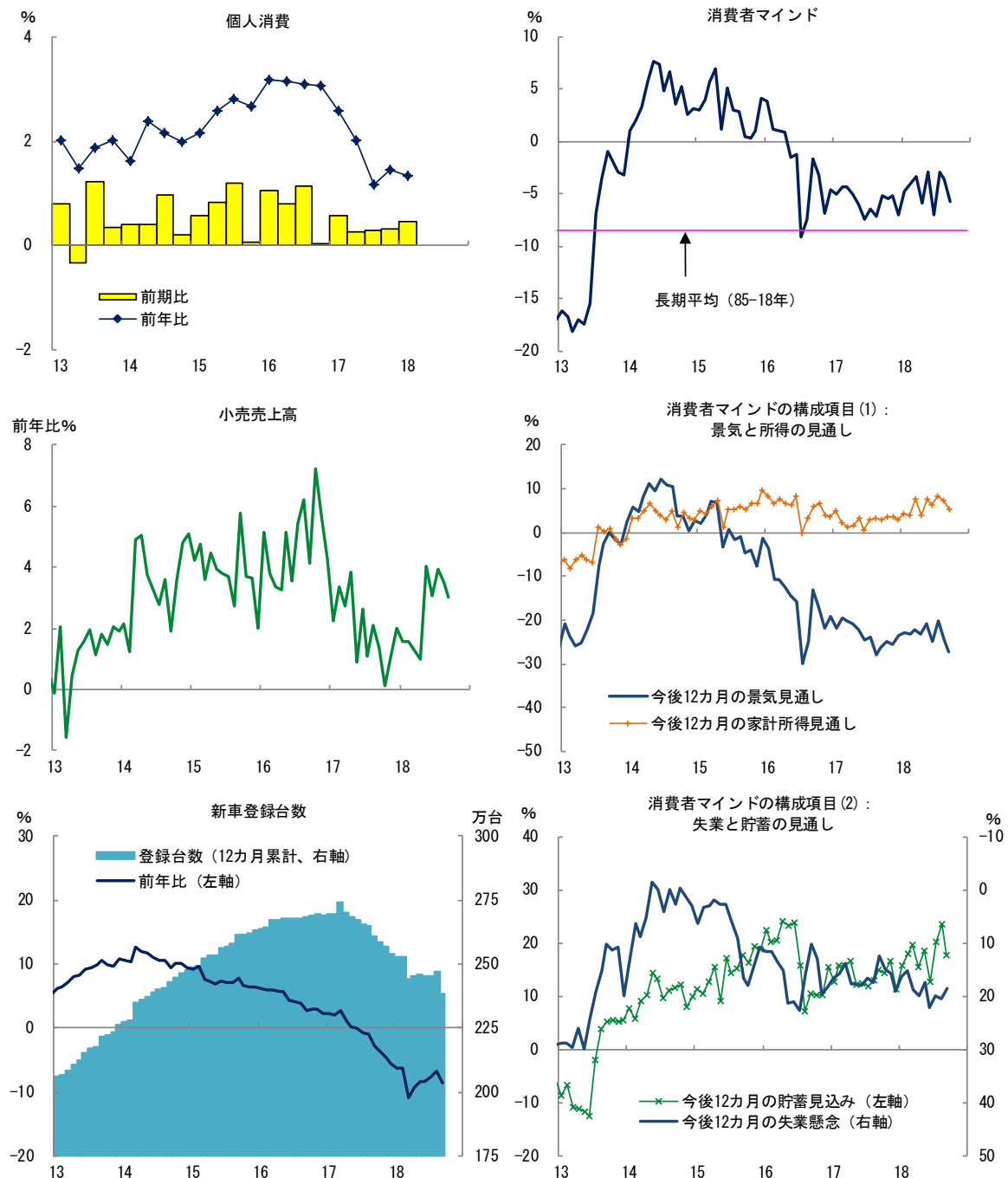


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 小売売上高は Q3 に前年比+3.5%と 16 年 Q4 以来の伸びを記録し、3 四半期連続の加速。ただし、9 月単月では食品、無店舗、自動車燃料売上の伸びが低下し、同+3.0%に減速した
- 新車登録台数は 9 月単月では前年比-20.5%。ユーロ圏と同様、8 月の大幅増(同+23.1%)からの反動減となった。12 カ月累計では同-8.6%と減少幅が拡大
- 9 月の消費者マインドは前月比で悪化。失業懸念を除くすべての構成項目が悪化したが、特に景気見通し及び貯蓄見込みが大きく悪化した

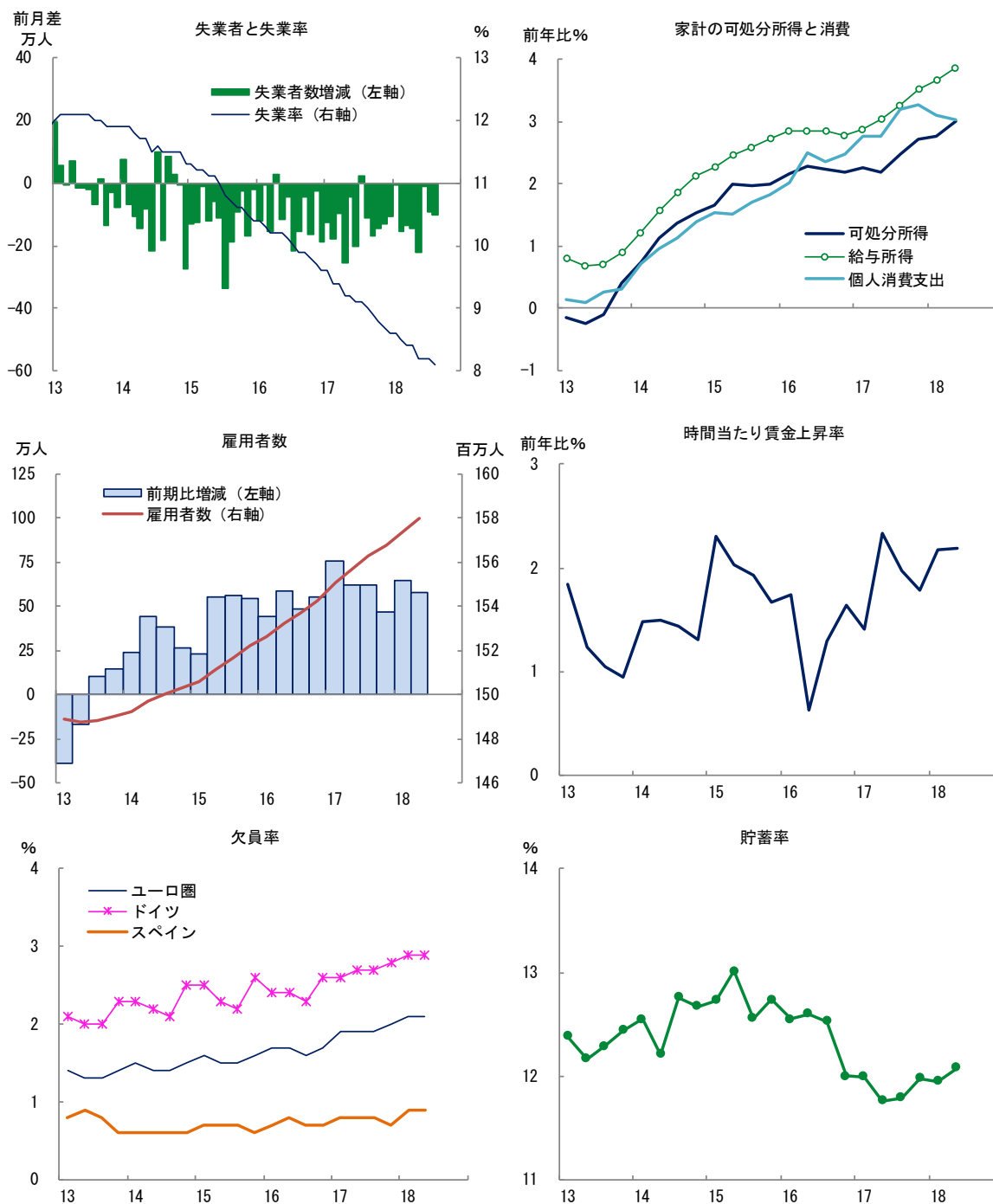


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- Q2の家計の給与所得は前年比+3.9%、可処分所得は同+3.0%となり、加速が続く。一方、個人消費支出は同+3.0%と2四半期連続で減速となった
- Q2の貯蓄率は12.1%とQ1の12.0%から上昇。99年の統計開始以来の最低水準を記録した17年Q2を底に緩やかな上昇が続く
- 8月の失業率は7月から低下し、8.1%となった。08年11月に並ぶ低水準

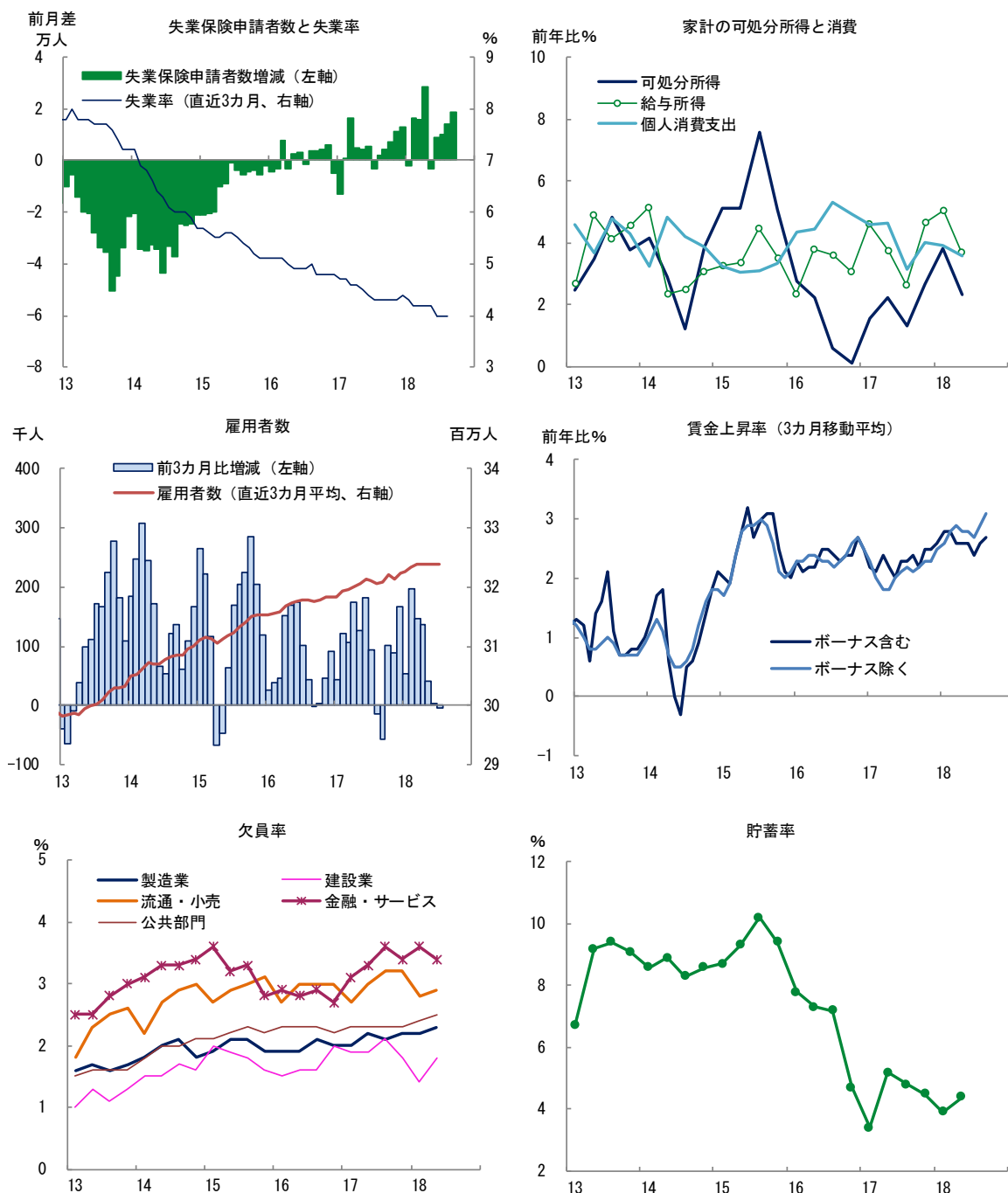


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- Q2の家計の給与所得は前年比+3.7%、可処分所得は同+2.3%、個人消費支出は同+3.6%とそろって減速。一方、貯蓄率は4.4%と1年ぶりに前期比で上昇した
- 6-8月平均の失業率は4.0%と5-7月平均から変わらず。雇用者数は71年2月の統計開始以来の高水準で推移している
- 6-8月の賃金上昇率（ボーナス含む）は前年比+2.7%、ボーナスを除いたベースでも同+3.1%と加速。欠員数（農林水産業を除く）も増加が続き、労働需給の逼迫が見られる

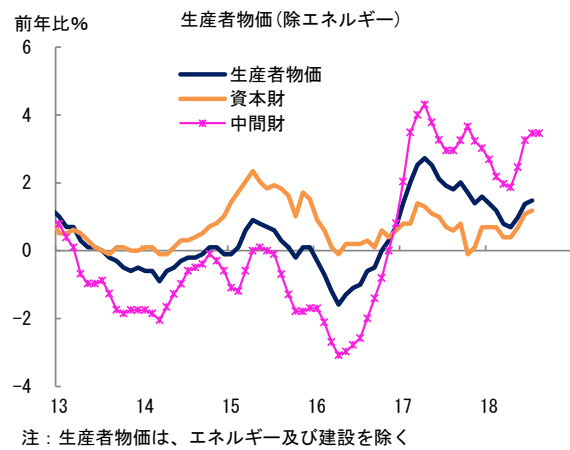
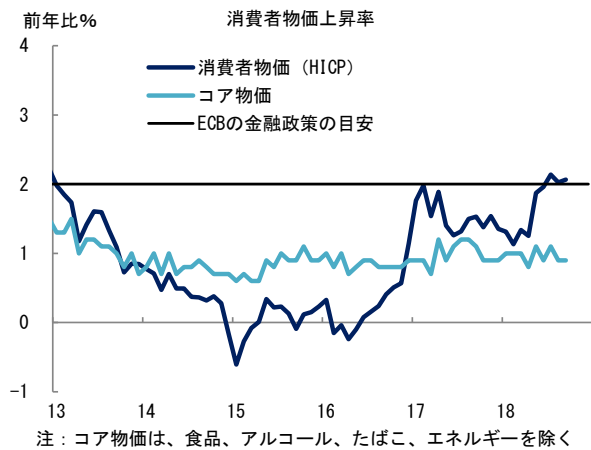


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

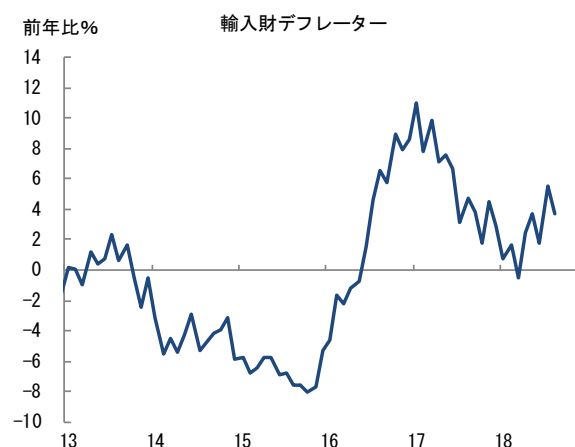
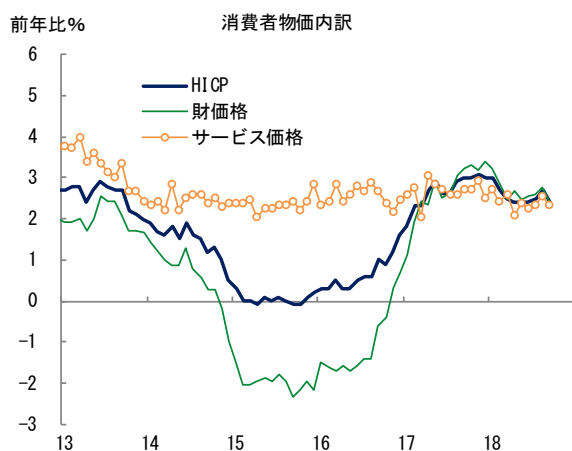
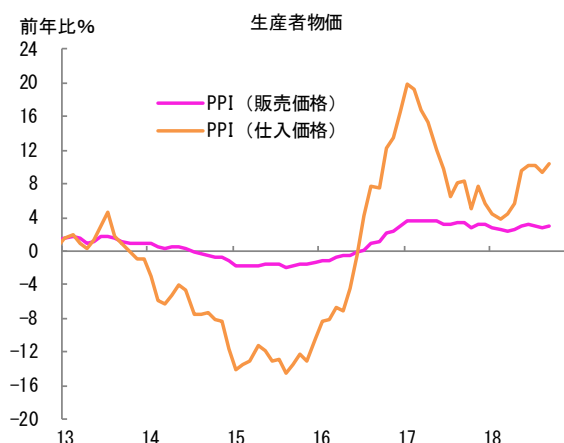
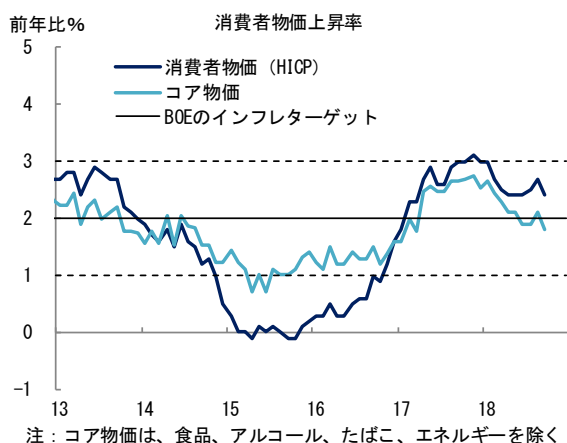
- 9月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.1%に加速。エネルギー及び食品・アルコール・たばこの価格上昇が大きく寄与。コア物価上昇率は同+0.9%と8月から変わらず
- 原油先物価格（北海ブレント）は、9月に14年11月以来の水準まで上昇した
- 7月の輸入物価は前年比+7.2%に加速。主要因は鉱物燃料等の価格高騰で、同+40.0%に加速した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

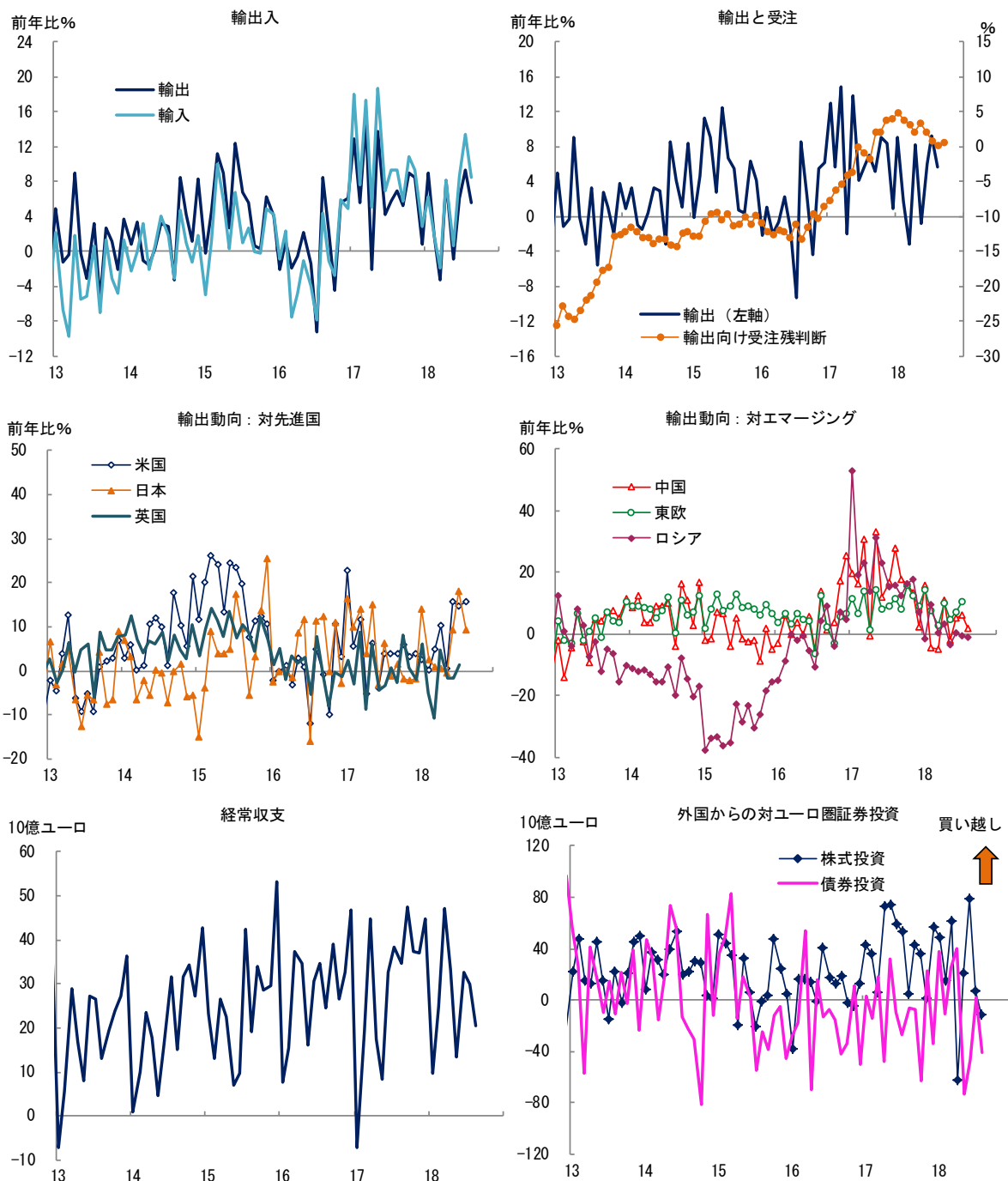
- 9月の消費者物価(HICP)上昇率は前年比+2.4%、コア物価上昇率は同+1.9%と共に減速。輸送、娯楽に加え、食品・非アルコール飲料の価格が減速に転じた
- 9月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+10.3%に加速。製造用燃料価格の加速が続く。販売価格も同+3.1%とわずかに加速した
- 8月の輸入財デフレーターは前年比+3.7%と減速。燃料価格の高騰が一服し、化学製品及び材料の価格も減速した



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

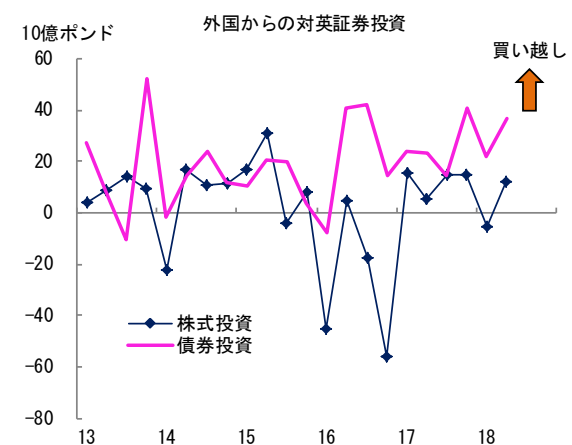
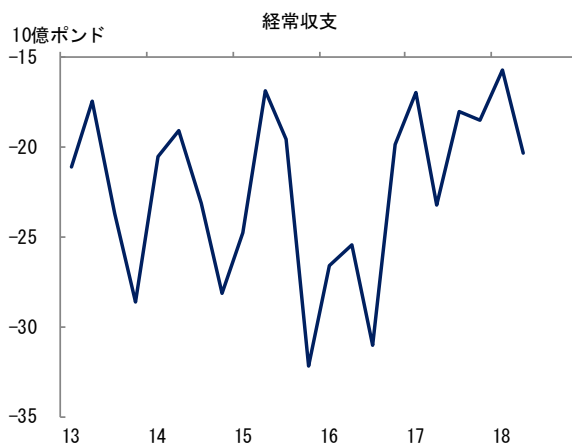
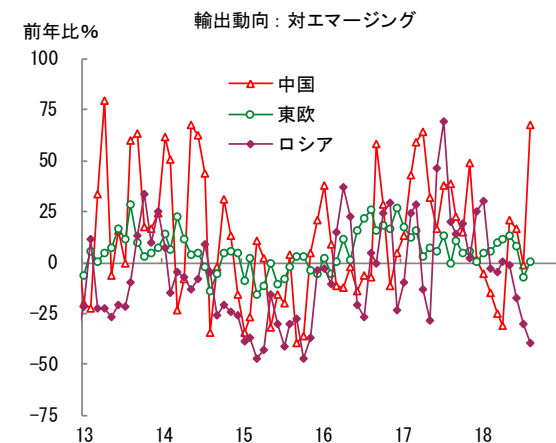
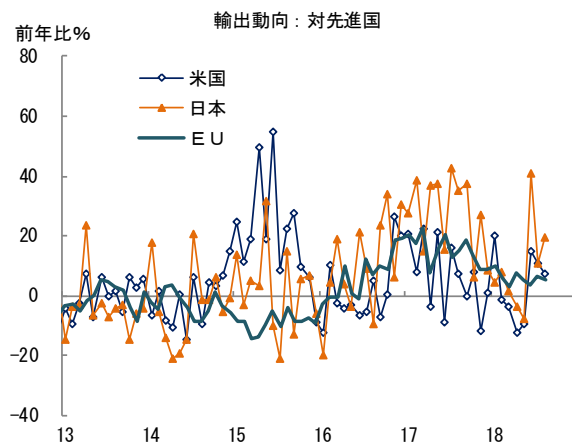
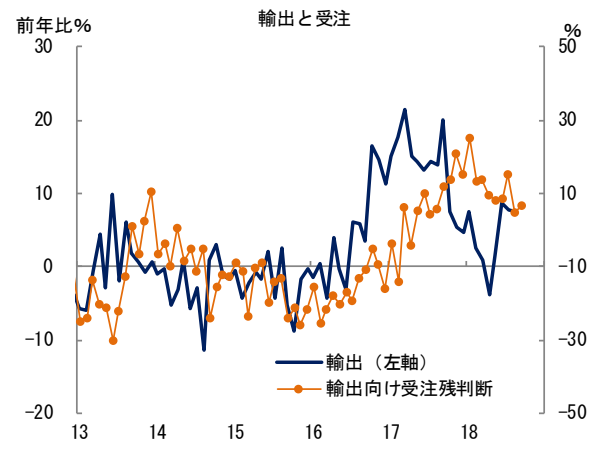
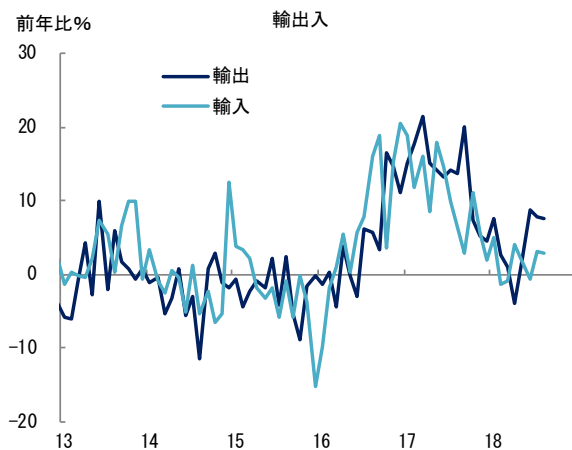
- 8月の輸出は前年比+5.6%、輸入は同+8.5%とそろって減速。輸出入ともに工業製品の大幅減速が主要因
- 輸出相手先別では、米国向けは3カ月連続で前年比での高い伸びとなった。一方、エマージング向けは低調な伸び、もしくはマイナス圏での推移が続く
- 8月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、16年10月以来の株式、債券そろっての売り越しとなった



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 8月の輸出は前年比+7.5%、輸入は同+2.8%とそろってわずかに減速。輸出入ともに、燃料の急拡大は続くも、最大のウエイトを占める工業製品が振るわなかった
- 輸出相手国別では、中国向けが急反発するも、東欧及びロシア向けは不振が続く。一方、先進国向けは堅調な伸びとなった。
- Q2の外国からの対英証券投資は、株式投資、債券投資共に買い越しとなった



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成